

イネ科の日本新産帰化植物、ズングリオヒシバ (新称)

Eleusine tristachya (Lam.) Lam. (Gramineae), Newly Naturalized in Japan

木場英久・松本雅人

Hidehisa Koba & Masato MATSUMOTO

Abstract. *Eleusine tristachya* (Lam.) Lam. is a native of South America and was naturalized in North America and Africa. In 1998, the species was collected in Kanagawa Prefecture for the first time in Japan.

Key words: *Eleusine tristachya*, newly naturalized species

著者のひとり松本が日本新産のオヒシバ属 *Eleusine* Gaertn. の帰化植物を採集したので報告する。この植物は小穂が多数の小花からなり、数本の総状花序が放射状につき、その先端にも小穂がつくことなどからオヒシバ属の植物であることは明らかであったが、タツノツメガヤを連想させるような太くて短い総状花序をもつことなどからオヒシバ *Eleusine indica* (L.) Gaertn. でもシコクビエ *E. coracana* (L.) Gaertn. でもなく、新しい帰化植物であることがわかった (図1)。

オヒシバ属には世界に9種があり、分布の中心はアフリカである (Phillips, 1972; Clayton & Renvoize, 1986)。そのうち、*Eleusine tristachya* (Lam.) Lam. は南アメリカに自生し、北アメリカとアフリカに帰化し、*E. coracana*, *E. indica*, *E. multiflora* Hochst ex A. Rich の3種は新世界に帰化し、その他の種はアフリカに固有である (Phillips, 1995; Peterson et al., 1997)。

オヒシバ属のうち、本種のように太くて短い総状花序をもった種は *Eleusine tristachya* と *E. multiflora* の2種だけで、前者は外穎が鈍頭から垂鈍頭で (図1E)、種子表面に粗い縞をもつ (図2A) に対し、後者は外穎が鋭頭で短芒状になることもあり、種子の表面構造もより細かい (図2B)。これらのことから、今回採集された植物は *E. tristachya* と同定された。

本種は、牛糞の堆肥を撒かれた畑の周辺で採集されたことから、牛の飼料に混入して侵入したものと思われる。

初めて採集したのは1998年であるが、その後も毎年生育を確認していることから、同様の経路で日本各地に侵入し、定着する可能性が高いと考えられる。太くて短くずんぐりとした総状花序をつけていたので、和名をズングリオヒシバと新称する。また、本属には花序の概観がよく似たもう一種 *Eleusine multiflora* があり、この種も帰化する可能性があるため注意が必要である。以下にズングリオヒシバの形態を記す。

まばらに叢生する一年草。稈は斜上し、高さ45cmに達する。葉身は長さ6-26cm、幅3-6mmで、まばらに開出毛が生え、急尖頭。花序は2から8個の短くて太い総状花序が短軸上に互生する。総状花序は楕円形から卵形で、長さ1.5-3cmで、斜上または開出し、青緑色でしばしば灰色を帯び、総状花序の中軸は細い翼がある。小穂は、卵形で、長さ7-11mm、5-15小花を含む。苞穎は竜骨に翼があり、第1苞穎は1脈、第2苞穎は3脈。外穎は狭卵形で、長さ3.3-5.2mmで、先端は鈍頭で微突形、竜骨はざらつく。内穎に2竜骨があり、それらはざらつく。穎果は熟すと果皮がはがれやすくなる。種子表面には粗い畦状の縞がある。葯は長さ約1mm。

***Eleusine tristachya* (Lam.) Lam.**, Tabl. Encycl. 1: 203 (1791), Hitchcock, A.S., Manu. Grass. (ed. 2) 501 (1951), Gleason, H.A., New Britton and Brown Irrust. Fl. 190 (1952), Yatskievych, G., Steyermark's Fl. Missouri (Rev. ed.) 1: 693 (1999). — *Cynosurus tristachyos* Lam., Encycl. 2: 188 (1786).

標本: 神奈川県相模原市大島上大島: Sep. 5, 1998, 松本雅人 (KPM-NA0122274); Sep. 15, 1998, 松本雅人 (KPM-NA0122275); Sep. 28, 1998, 松本雅人 (KPM-NA0122276).

木場英久 (Hidehisa Koba)
神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History
499 Iryuda, Odawara, Kanagawa 250-0031, Japan
koba@nh.kanagawa-museum.jp
松本雅人 (Masato Matsumoto)
〒242-0006 神奈川県大和市南林間5-7-11
5-7-11 Minamirkan, Yamato, Kanagawa 242-0006, Japan

種子の撮影を許可してくださった国立科学博物館植物研究部の近田文弘氏に謝意を表す。

引用文献

Clayton, W.D. & S.A. Renvoize, 1986. Genera Graminum, Grasses of the World. 389 pp. Her Majesty's Stationery Office, London.
Peterson, P.M., R.D. Webster & J. Valdes-Reyna., 1997. Genera of New

World Eragrostideae (Poaceae: Chloridoideae). *Smithson. Contrib. Bot.*, (87): 28.

Phillips, S., 1972. A survey of the genus *Eleusine* (Gramineae) in Africa. *Kew Bull.*, **27**(2): 251-270.

Phillips, S., 1995. *Eleusine*. In Hedberg, I. & S. Edwards, eds., Flora of Ethiopia and Eritrea, vol.7 Poaceae, pp. 138-142. Upsala, Sweden.
(受付:2002年11月27日;受理2003年1月24日)

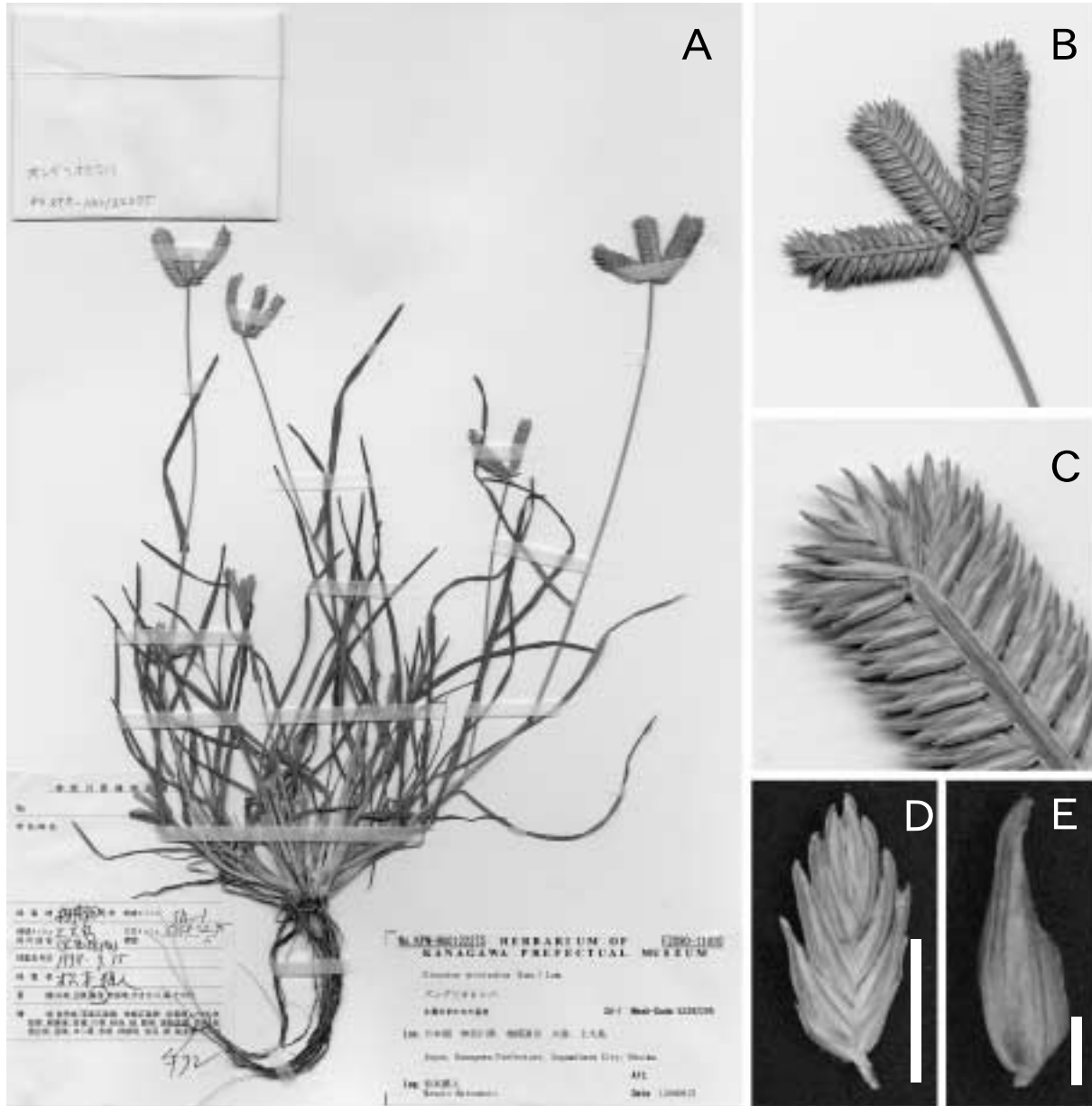


図1. さく葉標本. A: 全体, B: 花序, C: 総状花序の先端, D: 小穂, E: 小花. スケールはDが5mm, Eが1mm.

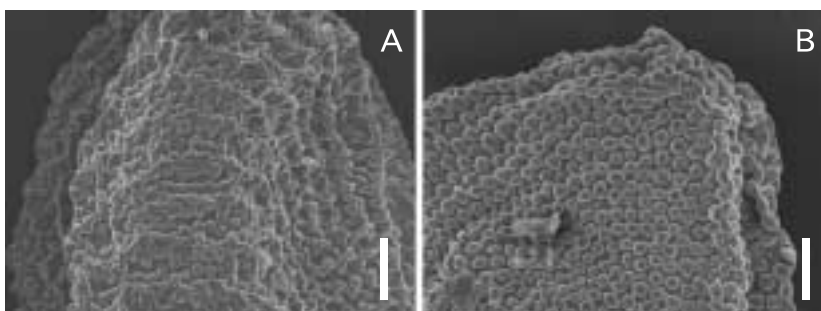


図2. 種子表面. A: *Eleusine tristachya* (Lam.) Lam. (KPM-NA0122275), B: *E. multiflora* Hochst ex A.Rich. (Mexicocity, Mexico 1960.10.20 採集者不明 TNS173288). スケールは0.1mm.